

省エネルギーで、排水処理及び有価物回収できる装置

蒸発濃縮装置

特徴

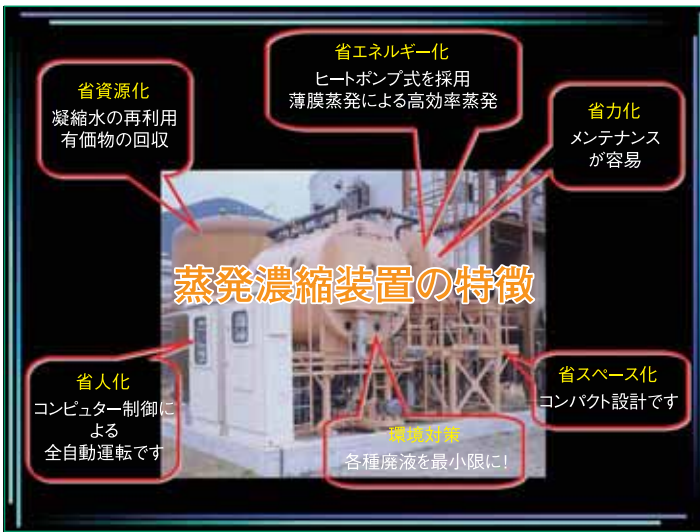
- 産業廃棄物費の削減・廃水からの有価物回収、水回収を実現!
- エゼクター、ヒートポンプ利用の省エネルギー性の高い装置!
- 50m³/日処理の場合、エネルギーコスト約85%減、CO₂排出量約90%減を実現!

概要

(技術の原理・動作等)

1. ササクラの蒸発濃縮装置の特徴

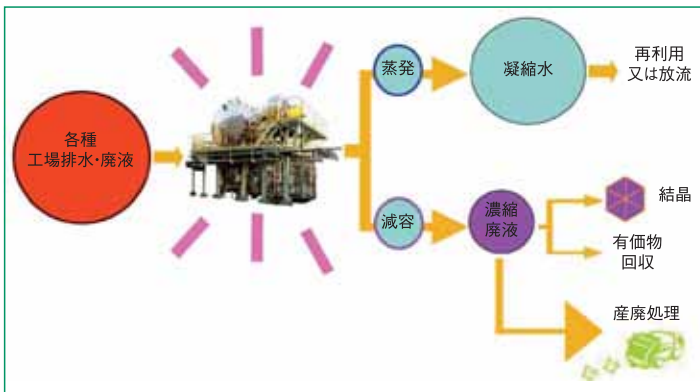
真空状態で原液が蒸発缶内を循環し過熱管の表面で原液が蒸発する。



蒸発濃縮装置の特徴

2. 廃液処理のイメージ図

蒸発した蒸気はヒートポンプで圧縮され、熱源として再利用される。

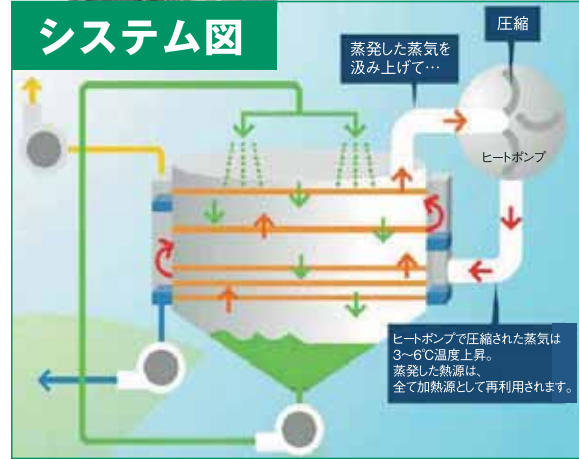


廃液処理のイメージフロー図

3. 省エネルギーに優れた濃縮技術

～ヒートポンプ式濃縮装置～

蒸発した蒸気をヒートポンプで圧縮し、熱源として再利用することで、蒸気を約100%再利用しています。



システム図

過熱管内の蒸気は凝縮水となり循環する原液は濃縮され、系外へ排出される。

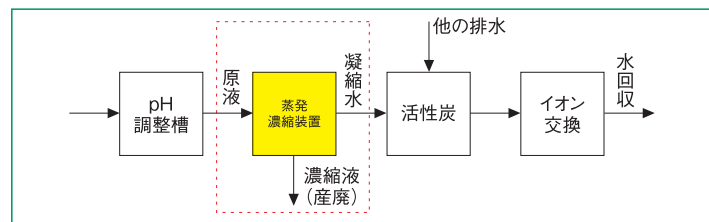
導入実績

- 韓国 21台 NaOH回収、KI回収、アルコール廃液、酵母廃液など
- 台湾 15台 水回収、KI回収、TMAH回収、硫酸銅溶液など
- 中国 12台 硫酸銅溶液、メッキ排水、離型剤廃液、廃石鹸+脱脂廃液など
- タイ 7台 水溶性切削油、硫酸ニッケル、メッキ排水、離型剤排水など
- インド 3台 メッキ排水・印刷排水など
- シンガポール 2台 HD製造廃液減容化など
- ベトナム 1台 塩化アンモニウム排水
- フィリピン 1台 離型剤廃液

効果

◎自動車業界メッキ排水処理例

今まではメッキ工程から排出される排水を薬品処理・生物処理をし、工場外に放流していた。その為、薬品費及び汚泥処理費がかかっていた。また、メッキ工程で使用している洗浄水の補給も必要であった。弊社蒸発濃縮装置を導入頂いて以後、メッキ工程から排出される排水からササクラ濃縮装置により水回収をすることになりました。また、工程排水が河川への放流排出されなくなり、本工程の排水クローズ化に成功しました。



適用分野
排水処理設備、水回収設備

水

省エネ・エネルギー回収

エネルギー
蓄エネ創エネ

新エネルギー

廃棄物処理
再資源省資源

大気

土壌

その他

株式会社ササクラ 水処理事業部 国内営業室 〒555-0011 大阪市西淀川区竹島4-7-32

● TEL / 06-6473-2930 ● FAX / 06-6473-4290 ● E-Mail / y.maeda@skm.sasakura.co.jp ● http://www.sasakura.co.jp/

※留意事項：本書は環境・エネルギー問題の解決のお役に立てると考えられる事例（技術・製品等）を紹介するものであり、これらについて移転・販売することを保証するものではありません。